

【第2号議案】

令和2年度事業報告及び補正予算（案）について

1 令和2年度事業報告

(1) 瀬戸内国際芸術祭 2022 開催へ向けた準備

瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催に向け、その基本的な方向性を定める取組方針の策定、作品制作に向けた準備、受入環境の整備などの諸準備を行うとともに、広報やボランティアサポーターの確保・育成に向けた活動などを行った。

① 取組方針の策定・見直し

ア 取組方針の策定

昨年7月28日に開催した瀬戸内国際芸術祭実行委員会第27回総会において、次回の芸術祭の開催趣旨や名称、会期、会場、重点的な取組みの視点などの開催概要のほか、会場ごとの事業展開やアーティスト選定などのアートプロジェクト、受入環境の整備や広報、来場者への情報提供、芸術祭サポーター、チケット・グッズ開発などの運営の基本的な方向性を定める「瀬戸内国際芸術祭 2022 取組方針」を策定した。

イ 取組方針の見直し

【第1号議案のとおり】

② 作品制作に向けた準備

ア 作品公募

各会場の地域資源を活かしたアートプロジェクトを募集することを目的に、作品公募（昨年5月に公募要項を発表、9月に応募を受付）を行ったところ、国内外から421組、501点の応募があった。

応募の内訳：国内 281組（約67%）、342点（約68%）

国外 140組（約33%）、159点（約32%）

イ 瀬戸内の里海・里山に焦点を当てた取組み

昨年7月から本年1月にかけて、取組方針の「重点的な取組みの視点」に掲げる「瀬戸内の里海・里山の隠れた資源の発掘と発信」について、地元市町をはじめとした関係者と勉強会や個別協議を重ねながら、これまで取り上げていなかったような特色ある地形や街並み、土地の歴史や生活の営みなどに着目した作品展開等の検討を行った。（成果を取組方針の見直しに反映）

③ 受入環境の整備

会場である島々へのスムーズな移動を実現するため、既存航路の増便や臨時航路の開設について、関係事業者等と協議を行った。また、会期中における受入環境の向上を図るため、来場者の周遊を現地でサポートする案内所の設置について、関係市町や事業者等と協議を行った。

④ 広報

芸術祭 2022 に向けて効果的な広報を行っていくため、発信する内容やツール、関係者間の連携などについて関係団体と協議を行った。また、瀬戸内国際芸術祭を紹介するリーフレットを作成しPRを行った。

⑤ ボランティアサポーター

瀬戸内国際芸術祭のボランティアサポーター「こえび隊」の事務局機能を担う特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークと連携し、ホームページ等で「こえび隊」への参加を呼びかけるとともに、地域の行事に参加するなど、会場となる島や地域で継続して活動した。

⑥ チケット・グッズ

芸術祭 2019 におけるチケットやオフィシャルグッズの販売傾向等を分析し、芸術祭 2022 に向けた制度設計について検討を行った。また、作品鑑賞パスポートのデジタル化について検討を行った。

⑦ 寄付・協賛等

芸術祭 2019 のパートナー企業等の協賛企業・団体等に対して、芸術祭 2019 の実績を報告するとともに、芸術祭 2022 の取組方針の概要説明を行うなど、企業との関係性の強化に向けた取組みを行った。また、芸術祭 2022 の協賛獲得に向けてパンフレットを制作するとともに、県内外の企業等への協賛依頼の取組みを開始した。

(2) ART SETOUCHI の運営

① 全般

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、芸術祭 2019 からの継続作品の公開を行うとともに、各種イベントやアーティストによるワークショップを開催した。また、公式ウェブサイトやSNSを活用し、各島のイベント情報等を積極的に発信した。

② 継続作品の公開

関係市町の意向も踏まえ、直島や豊島、小豆島、沙弥島、粟島、高松港、宇野港において、屋外作品を中心に、芸術祭 2019 からの継続作品の公開を行った。

③ イベント等の実施

ア 各種イベント・ワークショップ

新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、各種イベントやアーティストによるワークショップを開催し、公式ウェブサイトやSNSを通じてPRを行った。

《実行委員会主催の主なイベント等の概要》

実施内容	実施月	会場	参加者数
演劇って楽しい！1DAY 直島ワークショップ	R2年9月	直島	45人
豊島「島のお誕生会」	R2年10・11・12月 R3年2・3月	豊島	150人 (10月～3月)
SETOUCHI ART BOOK FAIR 2020	R2年10月	高松	1,216人 (うちオンライン 視聴者601人)
高校生鍛造ワークショップ と作品の増殖	R2年12月	宇野港	55人
瀬戸内少女歌劇団 (豊島「島のお誕生会」で公演)	R3年2月	豊島	—

イ 学校連携事業

新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、香川県教育委員会や香川県内の高等学校等と連携して、瀬戸内国際芸術祭に関する学習や課外活動等を実施した。

《学校連携事業の概要》

実施内容（連携先）	実施月	参加者数
高校生のための瀬戸内アートサマープログラム (県教育委員会生涯学習・文化財課)	R2年8月	49名
①英語で楽しむ芸術祭作品鑑賞ツアー ②生徒による芸術祭の作品ガイド体験ツアー (県立小豆島中央高等学校)	①R2年8月 ②R2年9月	①9名 ②11名
①芸術祭に関するレクチャー ②高見島における京都精華大学チームとの協働 (県立多度津高等学校)	①R2年7月 ②R2年10・11・12月	①34名 ②27名
伊吹島におけるフォト研修・アートツアー (県立観音寺総合高等学校)	令和2年10月	25名

④ サポーターづくり

地域活性化の取組みに継続的に関わるサポーターの確保・育成を図ることを目的に、令和2年10月3日に、高松市でサポーター募集説明会を開催した。(オンラインで配信、66名が参加)

2 令和2年度補正予算（案）

(1) 瀬戸内国際芸術祭開催事業費

◎ 収入

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
負 担 金	25,200	25,200	—	
香川県	10,500	10,500	—	
高松市	5,250	5,250	—	
丸亀市	1,050	1,050	—	
坂出市	1,050	1,050	—	
観音寺市	1,050	1,050	—	
三豊市	1,050	1,050	—	
土庄町	1,050	1,050	—	
小豆島町	1,050	1,050	—	
直島町	1,050	1,050	—	
多度津町	1,050	1,050	—	
玉野市	1,050	1,050	—	
福武財団	—	—	—	
補助金・助成金	16,074	13,377	△ 2,697	国庫補助金の減額見込みに伴う減等
寄付金・協賛金	3,500	3,156	△ 344	
チケット・グッズ販売等	—	—	—	
その他	740	958	218	
前年度繰越金	254,247	272,259	18,012	R元年度の決算額の確定に伴う増
計	299,761	① 314,950	15,189	

◎ 支出

（単位：千円）

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
アートプロジェクト費	63,958	35,237	△ 28,721	
作品制作費等	43,680	19,959	△ 23,721	事業執行に伴う減
事業計画等策定費	20,278	15,278	△ 5,000	
運営活動費	22,979	18,464	△ 4,515	PRイベント等の中止に伴う減等
広報活動費	15,039	11,524	△ 3,515	
会場運営費等	2,290	2,090	△ 200	
事務局運営費	5,650	4,850	△ 800	
チケット・グッズ等制作費	—	—	—	
予備費	1,000	—	△ 1,000	
ART SETOUCHI運営費への繰出金	61,555	53,324	△ 8,231	
計	149,492	② 107,025	△ 42,467	

◎ 令和2年度収支差額

収支差額(①-②)

207,925 千円

（翌年度瀬戸内国際芸術祭開催事業費へ繰越）

(2) ART SETOUCHI 運営費

◎ 収入

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
補助金・助成金	21,968	8,875	△ 13,093	国庫補助金の減額見込みに伴う減
チケット・グッズ販売等	4,112	599	△ 3,513	イベント等の中止に伴う減等
芸術祭開催準備費からの繰入金	61,555	53,324	△ 8,231	
計	87,635	① 62,798	△ 24,837	

◎ 支出

(単位:千円)

区 分	現計予算額	補正後予算額	増減額	備 考
作品継続費	50,470	29,452	△ 21,018	
作品管理費	13,070	10,336	△ 2,734	事業執行に伴う減
イベント開催費等	37,400	19,116	△ 18,284	イベント等の中止に伴う減等
運営活動費	37,165	33,346	△ 3,819	
広報活動費	4,100	1,200	△ 2,900	イベント等の中止に伴う減等
会場運営費等	32,565	31,646	△ 919	
事務局運営費	500	500	-	
予備費	-	-	-	
計	87,635	② 62,798	△ 24,837	

◎ 令和2年度収支差額

収支差額(①-②)

0 千円